



日本共産党文京区議会議員
まんぢ幹夫 週刊 通信
 2010年10月22日号 No.165

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317（直通）
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



18日までに、394
 通の回答をいただき
 ました。ありがとう
 ございます。

雇用問題はもちろん
 社会保障の充実を求
 める声も特徴です。

「税金の使い方をしつかり考えてほしいです。生活が苦しくて、将来に希望がもてません」
 今月初めから区内全戸に配布をして
 いる「文京区民アンケート」が、毎日続々と返信されてきています。ご協力ありがとうございました。
 年代を問わずに切実な意見が寄せられていますが、とくに注目されるのは若い方々の声です。「長時間残業をしないと生活が苦しいほど収入は少ないのに、税金は高く、その税金も有効に使われている」という認識がもてない。まじめに働いている方がバカらしくなります」（20歳代女性）、「高齢者でも賃貸住宅の契約がしやすいようにしてほしいです」（30歳代女性）…など、

「区民アンケート」へのご協力ありがとうございます

「税金の使い方をしつかり考えてほしいです。生活が苦しくて、将来に希望がもてません」

30歳代 男性
 会社員

「喫煙コーナーをもう少し移動できませんか？」

地下鉄 後樂園駅前

駅利用のとき、また朝の駅頭宣伝のときも感じていました。一日に何万人もの利用がある駅前に、喫煙コーナーがあるのはいかがなものか？

実は自分も2年前まで喫煙者だったので、あの位置に喫煙所がするのは愛煙家には好都合であることはわかります。しかし、受動喫煙被害を考えると、もう少し離れた所でもいいのではないかと。先日の決算委員会でも改善を要望しました。区と関係機関の話し合いが必要だそうですが、ぜひ善処してもらいたいです。



先週の土曜日には、アンケートを寄せてくれた方に訪問もして更に詳しく意見を聞かせてもらいました。「国会議員の削減を。政治家も身を切って苦しい庶民の気持ちを理解すべき」など、お気持ちはよくわかりました。
 これらの貴重な意見は、必ず区政と私たちの活動に生かしてゆきます。まだ回答されていない方がいらしたら、ぜひご意見、ご要望と併せてよろしくお願ひいたします。



20日 総務区民委員会視察に。

13日 定例議会最終日。09年決算が賛成多数で「認定。共産党は問題点と課題を指摘し、老人保健会計以外は「認定せず」と反対意見を述べました。
 16日 朝、「柳町こども森」の運動会へ。いっぱい保護者、元気な子どもたちが印象的です。1歳児（保育園）がしつかり鉄棒、マット、平均台（のようなもの）をこなす姿に驚きました。午後、女性後援会のみなさんと小石川地域を訪問、挨拶。
 17日 午後、息子の学校のイベントに顔を出しました。なかなか活気のある学校です。夜、「礪川おやじの会」の例会に。稲刈り、サッカー教室などこれから行事が目白押しです。

まんぢ幹夫日誌